

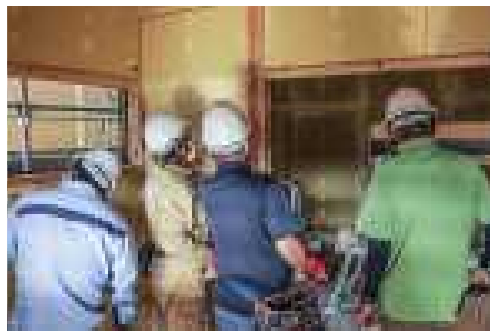
技能教育 レポート

栃木職業能力開発促進センター（ポリテクセンター栃木、石崎智久所長）は、子育て中でも安心して受講できるよう、託児サービス付き職業訓練を提供している。子育てを理由にスキルアップや興味がある仕事への再就職を諦めていた人を支援するのが狙いだ。期間が半年間の住宅系訓練に参加している女性受講者は「託児サービスがあることを知り、チャンスと思った」と話す。

託児サービス付き職業訓練は、全国のポリテクセンターを束ねる高齢・障害・求職者雇用支援機構（JED、和田慶宏理事長）が15年度に始めた取り組み。18年度は全国37カ所と同サービスが提供されている。

ポリテクセンター栃木では、半年間の訓練で託児サービスを希望する受講者に対し、宇都宮市にあるセンター近隣や通所経路にある託児所を探して提供。JEDを通じて月額6万6000円を上限に費用も負担している。本年度は10月ま

ポリテクセンター栃木



内装施工訓練の様子



13坪の模擬家屋を使ってリフォームプランも立てる

託児サービス提供、子育て中も安心して訓練

でに7人の受講者がサービスを利用した。訓練中だけでなく、毎週火曜日に行われる施設見学会や入所選考の時も、一時預かりサービスが利用できる。

6月から住宅CADリフトーム技術科の半年コースを受講中の皆越千尋さんは産休・育休で前職を離れ、仕事のブランクを取り戻すために「手に職を付けて就職しよう」とポリテクセンターでの訓練受講を決めた。

就職先として当初は建築のシヨールームなどを目標としていたという皆越さん。子どもを預ける環境も用意され、今月末までの受講を全うしようと積極的に取り組んでいる。

「リフォームなども手掛けられれば」と意欲的だ。住宅CADリフォーム技術科はテキスト代6500円だけで、建築CADやリフォーム施工を広く浅く学べる半年間の訓練を受けられる。住宅の耐震、省エネ、図面の知識、CAD製図、模型製作などを学んだ上で、13坪（42・9平方メートル）の模擬家屋を使って、フローリング、壁紙などの内装施工や建具の取り付けなどを行いながら、品質、安全、工程管理を習得。受講者同士が一緒に取り組むことで、住宅施工に欠かせない協調

性も養う。同じ模擬家屋を対象にグループでリフォームプランも考える。「65歳と63歳の夫婦が暮らす家のリフォーム」といったテーマだけが与えられ、CADを駆使して図面を描き積算も行う。テクノインストラクター（指導員）の大出茂陽氏は、「与えられたテーマに沿っていても、各グループから全く違うプランが出てくるのが面白い」と話す。

自宅から毎日車で1時間半かけて通う鈴木良子さんは「みんなで協力し合って一歩一歩前進できている」と訓練に参加する意義を話しながら、修了後には「できれば地元で貢献できるような仕事に就きたい」と語る。

